

第6回笠岡市人権フォトコンテスト入賞作品決定

私たちがひとりの人間として大切にされ、お互いを認め合い人間らしく生きていく権利として大切なものが、「人権」です。そして、この世に生を受けた全ての人がそれを平等にもつていきます。

「つながり」をテーマに日常生活の中で人権を大切にされている写真を募集したところ、市内外から34点の応募がありました。昨年12月27日に、笠岡市吉田文化会館で審査が行われ、その中から、次の作品が入賞作品として選ばれました。



▲最優秀賞
「秋晴」
中山和子さん（三原市）



▲優秀賞
「日本大好き！」
小林紀子さん（倉敷市）

▼優秀賞
「同級生」
小土井英雄さん（福山市）



その他、入選として、5点が選ばれました。
本年度も人権フォトコンテストを実施します。テーマなどの詳細については、広報かさおかでお知らせしますので、ふるってご応募ください。

標語で発信 人権尊重の思い

2月22日、企業等人権問題連絡協議会研修会に先立って、人権啓発標語の入賞者の表彰式が行われました。企業等人権問題連絡協議会とは、「笠岡地区における人権問題に対する正しい理解と認識を深めるとともに、生活基盤となる雇用問題等の保障に立脚し、諸問題解決に努力すること」を目的に結成された会であり、現在、笠岡市内41の事業所等が加盟しています。

その中で、人権問題に関する研修を行い、お互いの人権感覚を高め、人権が尊重される職場づくりに取り組んでいます。

また、毎年、人権週間に合わせて人権啓発標語コンクールを実施し、入賞作品を笠岡市部落解放文化祭に出品するなど、人権文化を広めるための発信もしています。

今年度も、385点の標語の応募があり、その中から、次の作品が入賞作品として選ばれました。

最優秀賞

育てよう 差別を見抜く目
許さぬ勇氣 あなたが主役の
人権啓発
(梶田泰宏さん)

優秀賞

わかりあう 心をみんな
わからあう (伊藤 隆さん)
無くそう差別 取り組もう

自分から 見直すのは
なにげない (竹原弘之さん)
そのひとことが
きずつける さりげない

そのひとことで いやされる
(伊藤恭代さん)

わからあう

やさしい気持ちと思いやり

地域で育む 人権意識
(池田佐知子さん)

笑顔の職場

明るい地域に差別なし

みんな実践 人権啓発
(川上恵子さん)

その他に、入選として、9点選ばれました。

